

第2回江の川水系（下流）大規模氾濫時の減災対策協議会 議事概要

1. 日 時 : 平成28年10月11日（火）10:30～11:45

2. 場 所 : 江津市役所 別館 職員会館

3. 出 席 者

（協議会構成員）

江津市 : 江津市長
川本町 : 川本町長
美郷町 : 美郷町長（代理 建設課長）
邑南町 : 邑南町長（代理 副町長）
島根県 : 防災部長（代理 次長）
島根県 : 土木部長（代理 河川課長）
気象庁 : 松江地方气象台長
国土交通省 : 浜田河川国道事務所長

4. 議 事

（1）江の川（下流）流域の減災に係る取組方針（案）

5. 議事結果

江の川（下流）流域の減災に係る取組方針（案）について、協議会構成員の賛同を頂いた。

6. 意見交換概要

【邑南町長】

取組内容の必要性は認識させて頂いているが、財源の支援はしてもらえるのか教えて頂きたい。

【事務局】

例えば想定最大規模降雨によるハザードマップ作成においては、補助がでると聞いている。その他については調べて情報提供したいと思う。取組主体は記載のとおりとしているが、協議会として目標達成に向けて連携して行っていきたいと考えている。

【邑南町長】

協議会で県や国に協力をお願いしたいと考えていた。財源確保等は市町では厳しいので、いろいろ要望等もさせてもらいながら対策を考えていければと思っている。

【川本町長】

5年間で整備局が取り組む内容として、簡易水位計など予算がかかるものばかりであるが、予算確保はできているのか。

【事務局】

簡易水位計整備については既に工事を発注しており、今年度中に優先度の高い箇所への設置が完了する予定である。水位予測の精度についても今回計画してH31年度には精度向上を目指したいと考えている。

【浜田河川国道事務所長】

予算についてはH31年度の予算が確保できている訳ではないが、目標を協議会で示したことで、これが達成できるよう重点的に予算を確保していきたい。

【江津市長】

一つ一つの項目は重要で必要なものである認識はあるが、全てを行うとなると膨大な作業を伴う。江津市の人員体制でこれをこなそうと思うと相当無理がある。現実問題で厳しいと思っているのが率直な感想である。

【浜田河川国道事務所長】

一つ一つはやらなければならない認識が各機関にあると思う。実際に取り組を始めると問題がでてくると思うが、見直しが必要な項目については今後のフォローアップで見直しを図っていききたい。

【江津市長】

取組項目の目標に、H〇〇年度から定期的な実施中と記載されている項目があるが、各項目を毎年実施するとなると人員を要する作業であり、努力はするができない部分もでてくるおそれがある。もっと曖昧な目標設定にできればよかった。

【事務局】

今回の取組方針は今後5年間でやっていく項目となっており、具体的な目標とさせて頂いた。各項目については毎年のフォローアップにより見直しを行っていききたい。

【江津市長】

県のように防災課があればよいが、ほとんどの市町村は総務課が中心であり、総務のいろいろな業務を行いながら一方で防災業務も兼ねて行っており、相当な人員配置を行う必要がある。

【川本町長】

市町で手が回らない部分は国で後押しして欲しい。

【事務局】

国をはじめ各機関が最大限、目標に向けて努力し取り組んでいく事と、毎年のフォローアップで取組状況を確認して、必要に応じて見直ししていききたい。